

# 墨田区児童館のあり方

平成30年 月

墨 田 区

# 目 次

## 第1章 はじめに（児童館の概要）

○児童館活動	.....
--------	-------

## 第2章 児童館を取り巻く現状

1 施設状況	.....
2 対象者別利用状況の推移	.....
3 児童館に対する区民ニーズ調査	.....
（1）就学前の子どもの保護者	.....
（2）小学生の保護者	.....
（3）成人前調査	.....
4 児童館を取り巻く現状のまとめ	.....
（1）子ども人口の増加への対応	.....
（2）安全で安心な放課後の居場所への対応	.....
（3）建物の老朽化等への対応	.....
（4）多様化する子育て支援ニーズへの対応	.....

## 第3章 子ども・子育て会議学齢部会での検討

1 墨田区における児童館の役割と課題	.....
2 課題を踏まえた児童館に求められる機能	.....
3 児童館の機能のイメージ	.....
（1）小学校等の児童館を取り巻く地域資源とのかかわり	.....
（2）各対象者とのかかわり	.....

## 第4章 施設整備の方向性

- 1 児童館運営の基本理念
- 2 施設整備の基本方針
  - (1) 墨田区に住むすべての子どもに切れ目なく支援していきます
  - (2) 地域子育て支援拠点機能を強化します
  - (3) 施設需要を踏まえた改修への対応と効率的運営を行います
  - (4) 近隣・類似施設との役割分担による子どもの育ちを支えます
  - (5) 配慮が必要な子どもの対応等きめ細やかに対応します

## 第5章 児童館別の施設整備の方向性

- 1 児童館別の施設整備の方向性の考え方
- 2 児童館別の現状評価及び方向性
  - (1) 墨田児童会館
  - (2) 八広児童館
  - (3) 江東橋児童館
  - (4) 東向島児童館
  - (5) 立花児童館
  - (6) 立川児童館
  - (7) 文花児童館
  - (8) 中川児童館
  - (9) 外手児童館
  - (10) 八広はなみずき児童館
  - (11) さくら橋コミュニティセンター

## 関係資料

- 1 児童館別の現状評価及び方向性シート（A3）
- 2 各児童館の平面図

## 第1章 はじめに（児童館の概要）

児童館は、地域の18歳未満の子どもを対象として、児童の健全育成を図る一方、地域における子育て支援や地域コミュニティをつなぐ核となる施設としての役割を果たすことが期待されてきています。

そのような中、墨田区においては、小学校2校に対して、ほぼ1館の割合で11館の児童館を配置し、小学生に対しては、異年齢交流、地域の他校児童との交流による人間形成、社会性形成、自立支援への活動を、子育て世帯に対しては子育て相談や保護者間の交流などを、また中高生に対しては居場所づくりや心身の成長に合わせた支援などの援助を行ってきました。

### ○児童館活動（平成26年11月 墨田区子ども・子育て会議学齢部会専門委員会報告）

#### ア 乳幼児と保護者に対する活動

子育て仲間の学びあいに重点をおき、子育て相談員などが相談に応じて、子育て力の向上や、地域での子育て協力体制の担い手になるようにする。

※平成29年度に地域子育て支援拠点として利用者支援事業を全館で開始した。

#### イ 小学生を対象にした活動

小学生の放課後の自由遊びや諸活動、を行い、遊びを通して子どもを育成する。また、子どもの自発的・自主的な活動のほか、異年齢交流、地域行事参加等の経験と遊びの展望を広げ、地域における子どもの「生活課題」「遊び」「仲間作り」など、地域課題に多面的に取り組む。

学童クラブを設置し、障害児や生活課題を持つ子どもの生活の場、心休まる場であるとともに保護者の就労支援にも寄与する。

#### ウ 中高生を対象とした活動

中高生の自主性を尊重し、また、相談に応じながら、活動テーマに沿ったクラブ作りを支援して、構成力・表現力・対話力などを育てるとともに、飲酒・喫煙・社会悪などへの抵抗力を強める活動をする。

#### エ 運営体制と地域ボランティアの育成

児童館が地域福祉の推進拠点の一つとして、地域の「福祉力」の強化に貢献することを目的として、多様な人材を登用して活動の幅を広げるため地域ボランティアを育成する。

## 第2章 児童館を取り巻く現状

### 1 施設状況

区内 11 児童館は、設置してからすでに 30 年以上、中には 45 年以上経過している施設もあり、老朽化が進んでいる一方、児童館事業の多様化により、これらに対応するための機能や設備の強化が求められている状況があります。

#### ア 児童館施設の概要

表 児童館概要 1

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

		墨田 児童会館	八広 児童館	江東橋 児童館	東向島 児童館	立花 児童館	立川 児童館
全体	竣工年	1971 年	1972 年	1974 年	1975 年	1976 年	1979 年
	階数	3 階建	2 階建	4 階建	4 階建	1 階建	4 階建
	敷地面積	2,203 m <sup>2</sup>	385 m <sup>2</sup>	184 m <sup>2</sup>	486 m <sup>2</sup>	1,084 m <sup>2</sup>	1,145 m <sup>2</sup>
	総建築面積	717 m <sup>2</sup>	202 m <sup>2</sup>	145 m <sup>2</sup>	277 m <sup>2</sup>	646 m <sup>2</sup>	676 m <sup>2</sup>
	建ぺい率(実)	32.54%	52.28%	78.78%	56.84%	59.56%	59.05%
	総延床面積	1,820 m <sup>2</sup>	419 m <sup>2</sup>	564 m <sup>2</sup>	1,068 m <sup>2</sup>	634 m <sup>2</sup>	703.35 m <sup>2</sup> ※
	容積率(実)	82.61%	108.81%	306.62%	219.66%	58.49%	127.31%

※ 立川児童館の総延床面積は、保育所との複合施設のため児童館部分のみの面積

		文花 児童館	中川 児童館	外手 児童館	八広 はなみずき 児童館	さくら橋 コミュニティ センター
全体	竣工年	1980 年	1983 年	1983 年	1985 年	1986 年
	階数	3 階建	3 階建	4 階建	4 階建	3 階建
	敷地面積	501 m <sup>2</sup>	341 m <sup>2</sup>	353 m <sup>2</sup>	507 m <sup>2</sup>	470 m <sup>2</sup>
	総建築面積	348 m <sup>2</sup>	202 m <sup>2</sup>	236 m <sup>2</sup>	330 m <sup>2</sup>	321 m <sup>2</sup>
	建ぺい率(実)	69.44%	59.22%	66.78%	64.98%	68.16%
	総延床面積	862 m <sup>2</sup>	590 m <sup>2</sup>	865 m <sup>2</sup>	1,171 m <sup>2</sup>	858 m <sup>2</sup>
	容積率(実)	172.28%	172.92%	245.34%	230.94%	182.32%

## イ 「第二次公共施設マネジメント実行計画」での位置付け

平成 28 年 6 月策定の「第 2 次 墨田区公共施設マネジメント実行計画」では、「建物の老朽化が進んでいることから、長期修繕計画に基づき計画的な修繕又は更新（建替え）を進めるとともに、可能な館については複合化・多機能化を推進する。」と位置付けています。

### ■ 「公共施設等総合管理計画」（平成 28 年 3 月策定）での評価

区分 1：「建物性能」・「施設機能」ともに評価が低く、建物や機能を含め今後の統合（集約化）、複合化、整理（廃止）等について検討を要する施設

区分 2：「建物性能」の評価が低く、他の建物への移転や他施設との複合化等により、建物性能の向上について重点的に検討を要する施設

区分 3：「施設機能」の評価が低く、運営形態の見直しやコストの改善、他施設との複合化等により、施設機能の向上について重点的に検討を要する施設

区分 4：適切に建物の保全を行いながら、更なる施設サービスの向上を図っていく施設。必要に応じて区分 1～3 に分類された施設とともに一体的な見直しを行う

施設名	劣化度	評価結果	建物性能	施設機能
墨田児童会館	37.6	区分 1	D	c
八広児童館	30.8	区分 1	D	d
江東橋児童館	47.1	区分 2	C	b
東向島児童館	47.0	区分 1	D	c
立花児童館	33.1	区分 1	D	d
立川児童館	44.8	区分 2	D	b
文花児童館	35.0	区分 1	D	c
中川児童館	37.2	区分 1	D	d
外手児童館	43.8	区分 1	D	c
八広はなみずき児童館	51.8	区分 1	C	c
さくら橋コミュニティセンター	30.1	区分 2	C	a

※建物性能（ハード面）は、経過年数、老朽度（偏差値）、耐震性能の有無、バリアフリーの状況で総合的に判定され、Aを一番良好な状態と位置づける。

※施設機能（ソフト面）は、現在需要、将来需要、施設配置、㎡あたりの維持管理費、利用件数等 1 件あたりの一般財源投入額の状況で総合的に判定され、a を一番高い評価と位置づける。

## 2 対象者別利用状況（年間利用者数）の推移

### 【全体】

児童館平均は、平成 28 年度に若干減少しているものの、ほとんどの児童館では、平成 24 年度以降、増加傾向にあります。

施設名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	24 年度比
墨田児童会館	79,338	73,156	73,606	86,659	85,311	107.53%
八広児童館	36,341	37,642	33,244	32,798	28,678	78.91%
江東橋児童館	30,962	33,131	35,449	37,550	40,757	131.64%
東向島児童館	53,218	49,515	48,925	55,178	54,534	102.47%
立花児童館	39,509	45,358	44,977	48,204	40,632	102.84%
立川児童館	40,137	36,149	41,334	37,726	35,578	88.64%
文花児童館	59,180	52,706	53,198	56,937	59,462	100.48%
中川児童館	39,765	42,869	40,221	37,679	38,896	97.81%
外手児童館	52,664	45,543	49,820	56,388	56,681	107.63%
八広はなみずき児童館	45,042	52,313	51,440	48,840	49,894	110.77%
さくら橋コミュニティセンター	54,660	62,257	67,541	70,514	65,152	119.20%
計	530,816	530,639	539,755	568,473	555,575	104.66%

### 【乳幼児】

乳幼児の平均は、館内工事に伴う休館や乳幼児事業の実施業況などにより増減するものの、全体的には平成 24 年度以降、増加傾向にあります。

施設名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	24 年度比
墨田児童会館	12,933	9,773	11,239	12,534	13,536	104.66%
八広児童館	1,277	1,825	1,497	1,751	1,744	136.57%
江東橋児童館	4,461	4,374	5,047	5,869	6,047	135.55%
東向島児童館	6,384	7,065	6,387	6,934	6,865	107.53%
立花児童館	6,015	5,062	5,018	5,093	4,496	74.75%
立川児童館	6,572	5,691	5,816	4,990	5,054	76.90%
文花児童館	6,606	5,754	6,644	7,894	7,892	119.47%
中川児童館	4,188	4,074	4,629	3,775	4,065	97.06%
外手児童館	6,496	5,006	6,631	7,816	7,114	109.51%
八広はなみずき児童館	4,813	4,019	4,203	3,439	3,827	79.51%
さくら橋コミュニティセンター	8,211	10,122	9,381	10,460	9,238	112.51%
計	67,956	62,765	66,492	70,555	69,878	102.83%

【小学生】

小学生の平均は増加傾向にありますが、一部の地区では減少しています。

施設名	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	24年度比
墨田児童会館	41,703	39,307	37,346	40,890	39,749	95.31%
八広児童館	29,781	30,126	27,762	25,990	22,413	75.26%
江東橋児童館	17,627	17,920	18,502	17,434	19,362	109.84%
東向島児童館	31,038	26,067	25,875	29,710	30,364	97.83%
立花児童館	19,701	25,571	26,903	29,475	23,512	119.34%
立川児童館	22,881	20,992	26,498	24,994	23,182	101.32%
文花児童館	26,088	25,011	26,363	25,268	27,870	106.83%
中川児童館	28,948	28,574	27,111	27,045	27,564	95.22%
外手児童館	30,758	26,603	28,210	31,154	32,928	107.06%
八広はなみずき児童館	25,263	33,919	33,834	34,689	34,119	135.06%
さくら橋コミュニティセンター	27,267	28,539	30,794	31,877	33,264	121.99%
計	301,055	302,629	309,198	318,526	314,327	104.41%

【中学生】

中学生や高校生は、行動範囲が広く、また特定児童の利用実態などにより、数値が大きく変動しやすい状況があります。

施設名	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	24年度比
墨田児童会館	6,971	7,026	5,215	9,631	8,599	123.35%
八広児童館	1,062	1,149	1,317	2,123	1,831	172.41%
江東橋児童館	913	2,345	2,005	1,051	1,410	154.44%
東向島児童館	3,423	2,858	3,199	3,480	3,318	96.93%
立花児童館	4,564	5,769	3,301	2,675	3,558	77.96%
立川児童館	1,849	1,848	1,723	1,672	919	49.70%
文花児童館	7,520	4,372	2,572	3,408	4,442	59.07%
中川児童館	2,630	6,158	3,439	2,420	1,640	62.36%
外手児童館	2,229	3,301	2,484	2,670	1,943	87.17%
八広はなみずき児童館	8,317	7,845	7,256	5,177	6,466	77.74%
さくら橋コミュニティセンター	3,518	3,659	4,235	6,029	3,562	101.25%
計	42,996	46,330	36,746	40,336	37,688	87.65%

【高校生】

中学生や高校生は、行動範囲が広く、また特定児童の利用実態などにより、数値が大きく変動しやすい状況があります。

施設名	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	24年度比
墨田児童会館	2,056	4,744	3,346	1,333	1,174	57.10%
八広児童館	2,134	1,756	46	33	112	5.25%
江東橋児童館	95	163	50	52	495	521.05%
東向島児童館	4,134	5,026	5,236	5,781	5,827	140.95%
立花児童館	951	928	1,580	1,412	1,453	152.79%
立川児童館	675	412	367	163	309	45.78%
文花児童館	1,019	2,221	2,292	1,984	1,414	138.76%
中川児童館	420	405	903	977	2,023	481.67%
外手児童館	610	723	816	687	706	115.74%
八広はなみずき児童館	1,907	1,981	2,015	1,823	1,208	63.35%
さくら橋コミュニティセンター	1,379	3,483	3,597	2,221	1,274	92.39%
計	15,380	21,842	20,248	16,466	15,995	104.00%

【一般】

一般の利用は、地域交流イベントの実績などによる増減がありますが、日常的な利用では、主に乳幼児の保護者が占める割合が多いことから、乳幼児の平均と同様、平成24年度以降、増加傾向にあります。

施設名	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	24年度比
墨田児童会館	15,675	12,306	16,460	22,271	22,253	141.96%
八広児童館	2,087	2,786	2,622	2,901	2,578	123.53%
江東橋児童館	7,866	8,329	9,845	13,144	13,443	170.90%
東向島児童館	8,239	8,499	8,228	9,273	8,160	99.04%
立花児童館	8,278	8,028	8,175	9,549	7,613	91.97%
立川児童館	8,160	7,206	6,930	5,907	6,114	74.93%
文花児童館	17,947	15,348	15,327	18,383	17,844	99.43%
中川児童館	3,579	3,658	4,139	3,462	3,604	100.70%
外手児童館	12,571	9,910	11,679	14,061	13,990	111.29%
八広はなみずき児童館	4,742	4,549	4,132	3,712	4,274	90.13%
さくら橋コミュニティセンター	14,285	16,454	19,534	19,927	17,814	124.70%
計	103,429	97,073	107,071	122,590	117,687	113.79%

### 3 児童館に対する区民ニーズ調査

「墨田区次世代育成支援行動計画、墨田区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しにあたり、平成28年度に実施した「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査」の調査報告から児童館に対するニーズを分析しました。

調査の期間：平成28年6月15日から平成28年7月15日まで

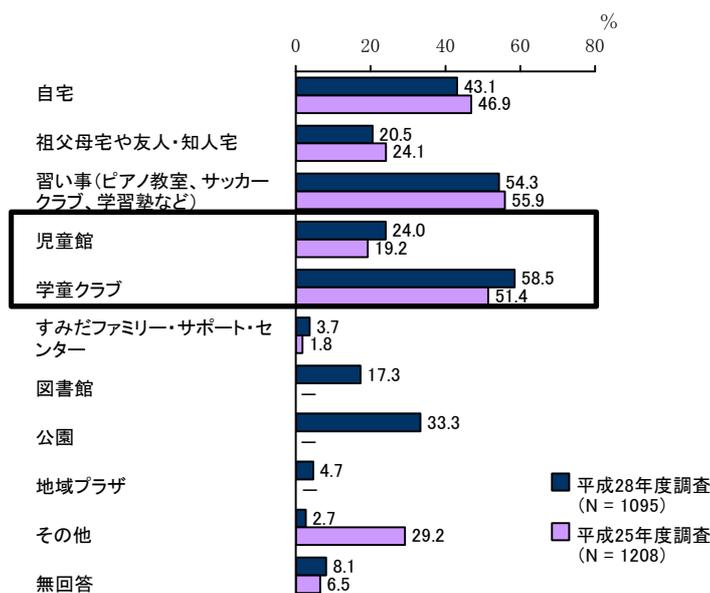
対象者	配布数	有効回答数		実施方法
就学前の子どもの保護者	2,000	1,099	(55.0%)	平成28年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出し、郵送により配布及び回収
小学生の保護者	1,500	729	(48.6%)	
成人前				
高校生等	300	102	(34.0%)	学校を通じて配布及び回収
中学2年生	333	333	(100.0%)	
計	4,133	2,263	(54.8%)	

#### (1) 就学前の子どもの保護者

ア 対象児童が低学年のうちに放課後の時間をどのような場所等で過ごさせたいか  
(問44)

放課後の時間をどのような場所等で過ごさせたいかについて、「学童クラブ」の割合が58.5%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が54.3%、「自宅」の割合が43.1%となっています。

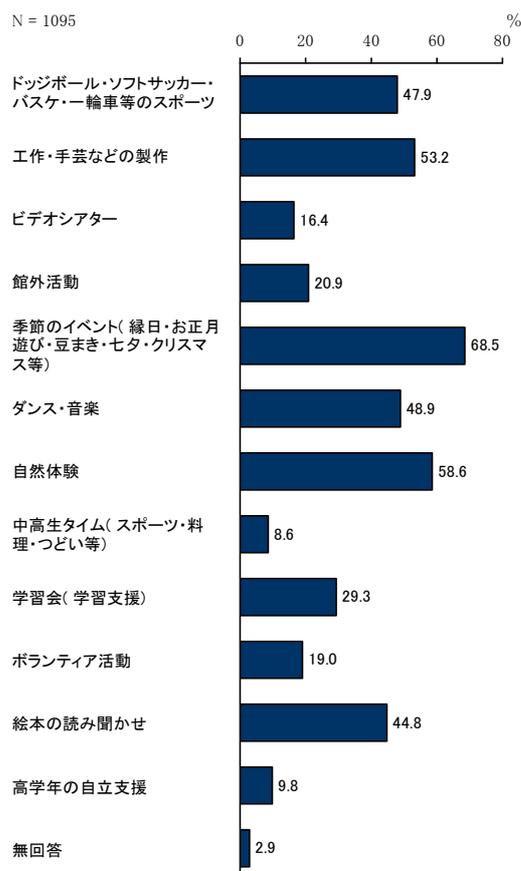
平成25年度調査と比較すると、「学童クラブ」の割合が増加しています。



※平成25年度調査では、図書館、公園、地域プラザ等が「その他」の項目

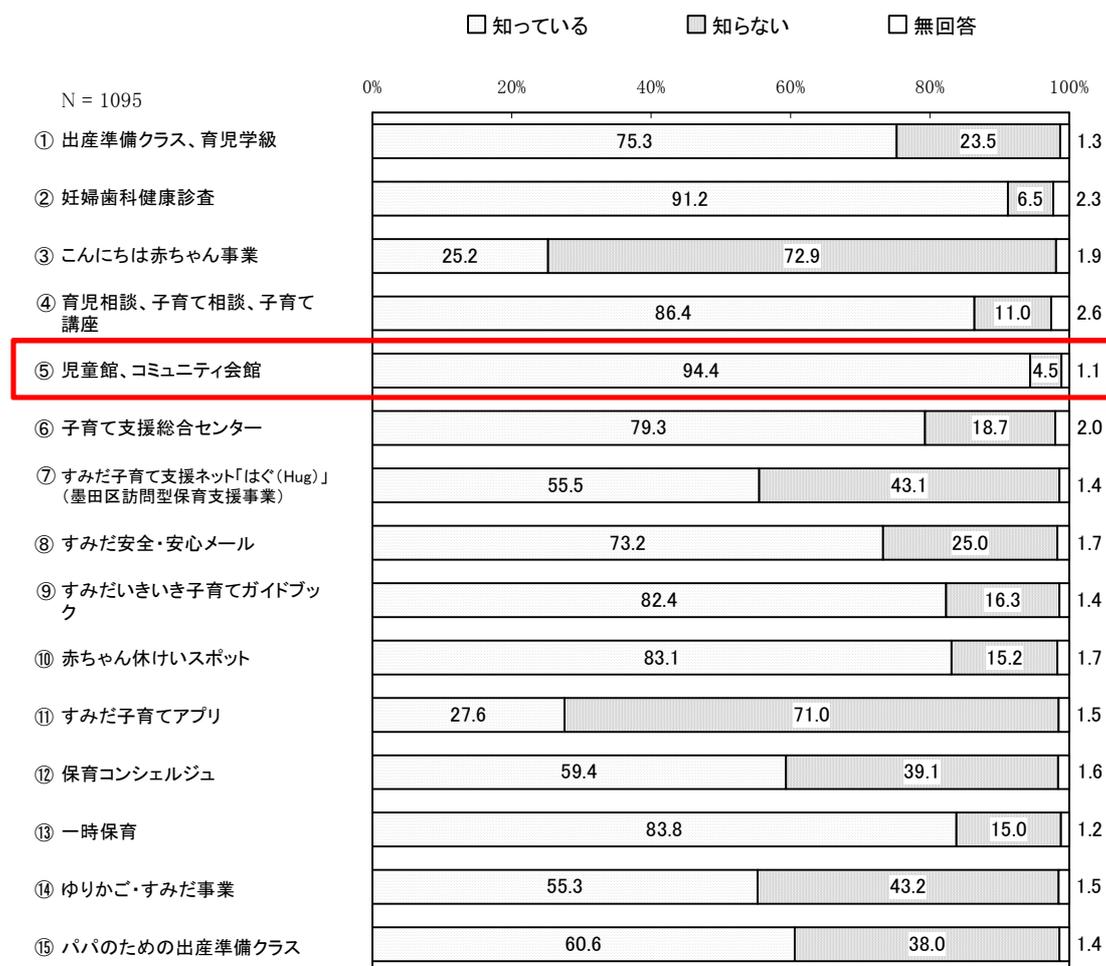
## イ 児童館で子どもに利用してほしい事業（問 19）

児童館事業について、「季節のイベント（縁日・お正月遊び・豆まき・七夕・クリスマス等）」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「自然体験」の割合が 58.6%、「工作・手芸などの製作」の割合が 53.2%となっています。



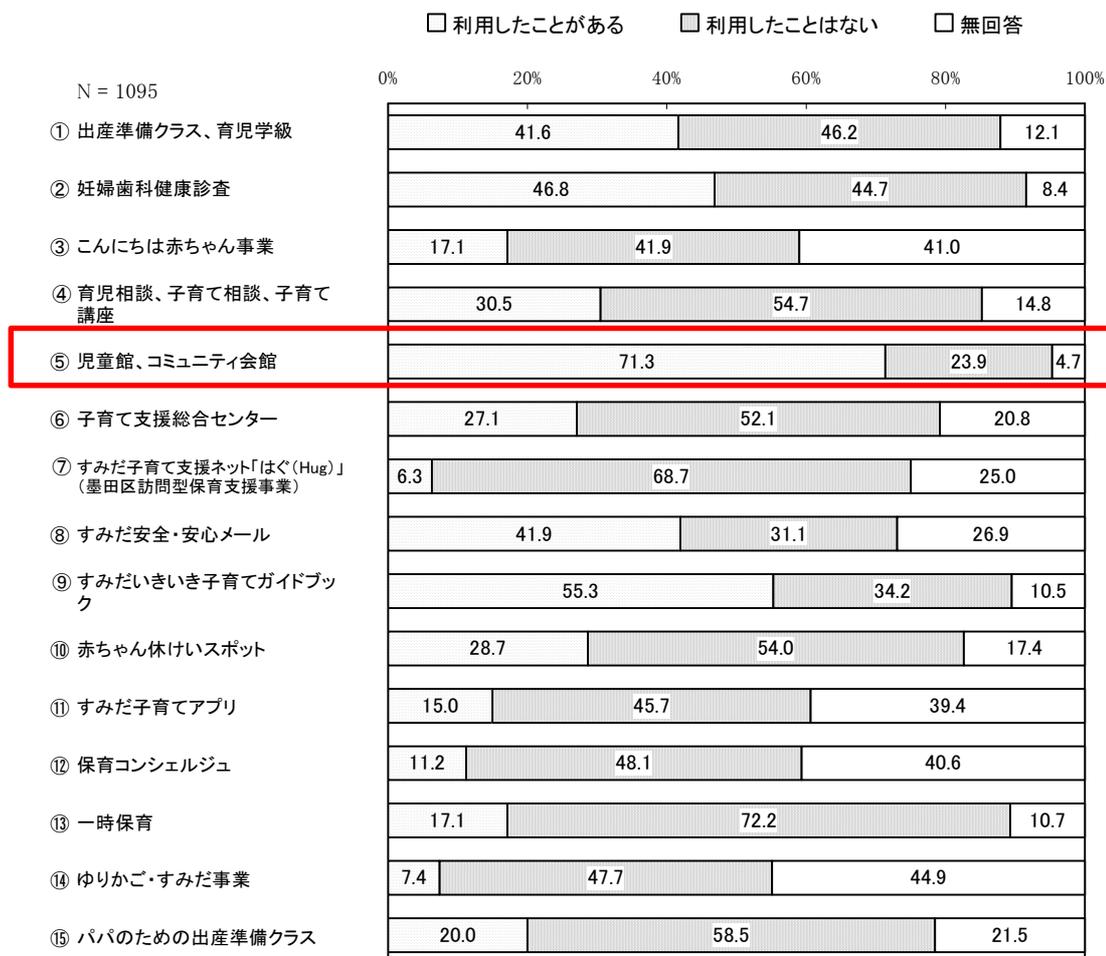
## ウ 認知度について（問 31）

地域子育て支援事業の認知度について、⑤児童館、コミュニティ会館で「知っている」の割合が高く、約9割となっています。



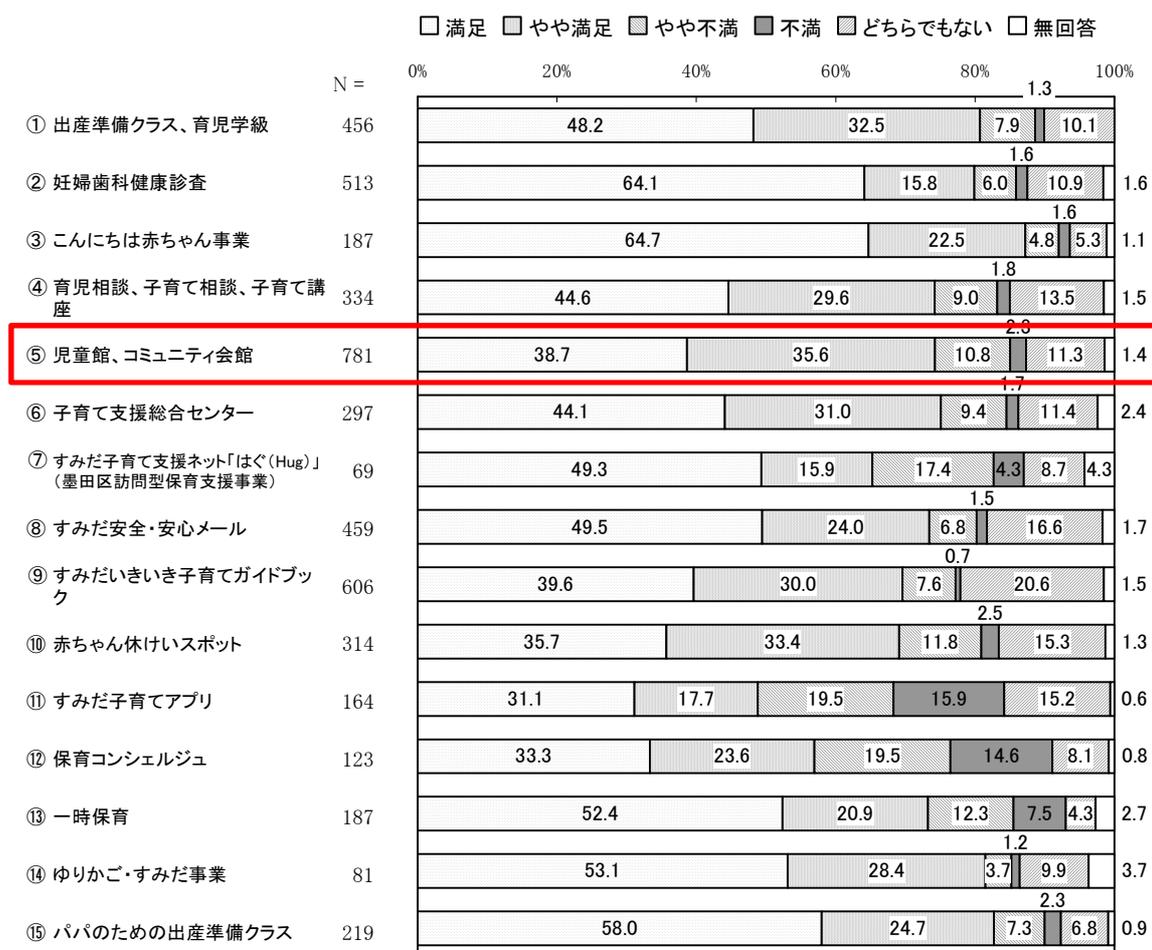
## エ 利用状況について（問 31）

地域子育て支援事業の利用状況について、⑤児童館、コミュニティ会館で「利用したことがある」の割合が高く、約7割となっています。



## オ 満足度について（問 31）

地域子育て支援事業の満足度について、⑤児童館、コミュニティ会館で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、7割を超えています。

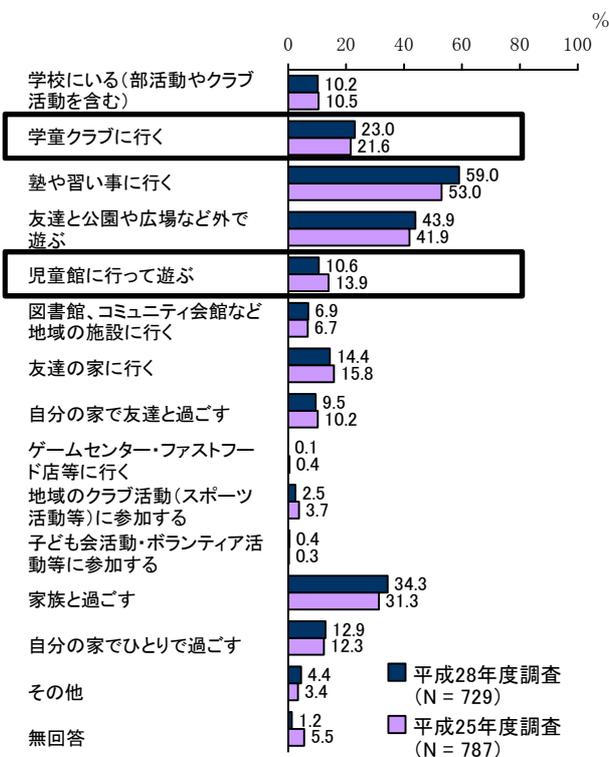


## (2) 小学生の保護者

### ア 対象児童は、月曜日から金曜日の放課後、どのように過ごすことが多いか（問 12）

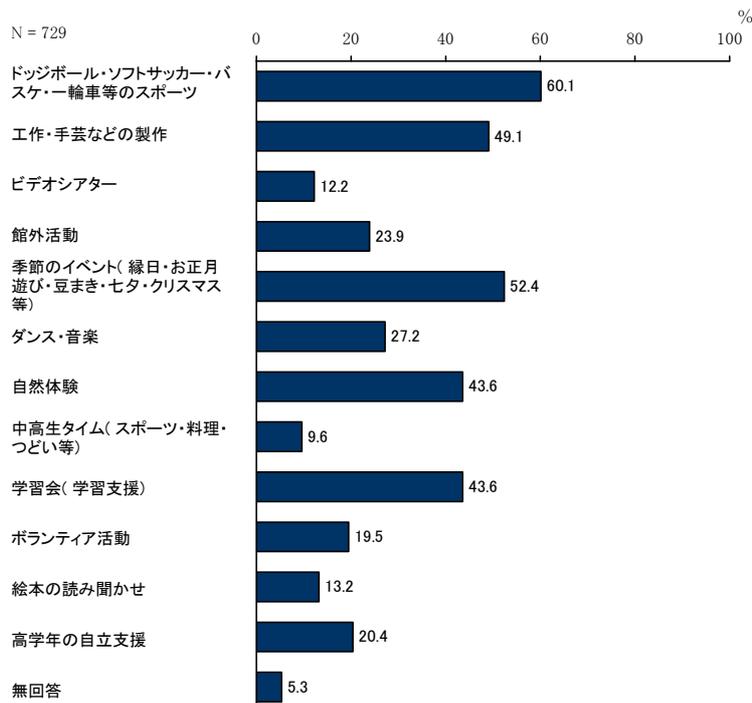
放課後の時間をどのような場所等で過ごさせたいかについて、「塾や習い事に行く」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「友達と公園や広場など外で遊ぶ」の割合が 43.9%、「家族と過ごす」の割合が 34.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「塾や習い事に行く」の割合が増加していますが、「学童クラブ」「児童館」の利用率には、**大きな変動はありません。**



### イ 児童館で子どもに利用してほしい事業（問 15）

児童館事業について、「ドッジボール・ソフトサッカー・バスケット・一輪車等のスポーツ」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「季節のイベント(緑日・お正月遊び・豆まき・七夕・クリスマス等)」の割合が 52.4%、「工作・手芸などの製作」の割合が 49.1%となっています。

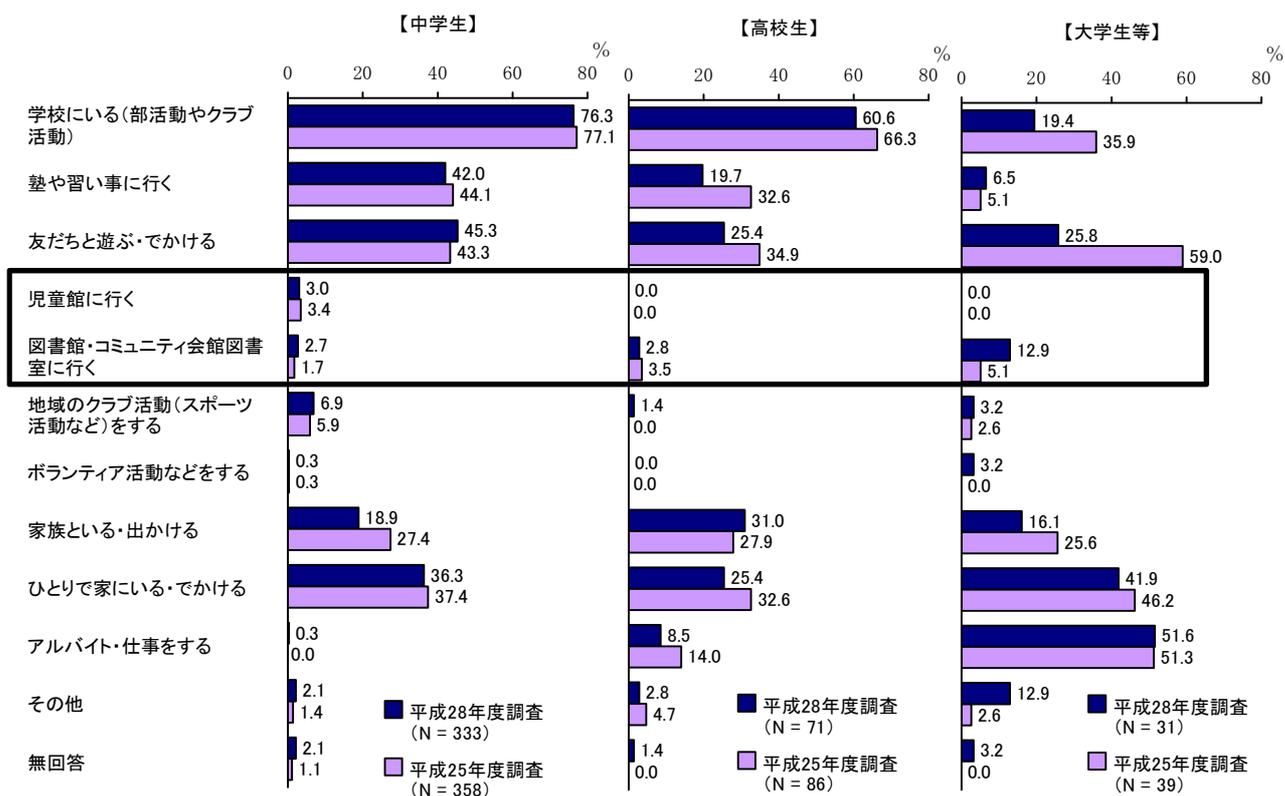


### (3) 成人前調査

#### ア 月曜日から金曜日の放課後、どんなことをすることが多いか (問 12)

中学生は、「学校にいる(部活動やクラブ活動)」の割合が高く、大学生では「アルバイト・仕事」の率が高くなっています。

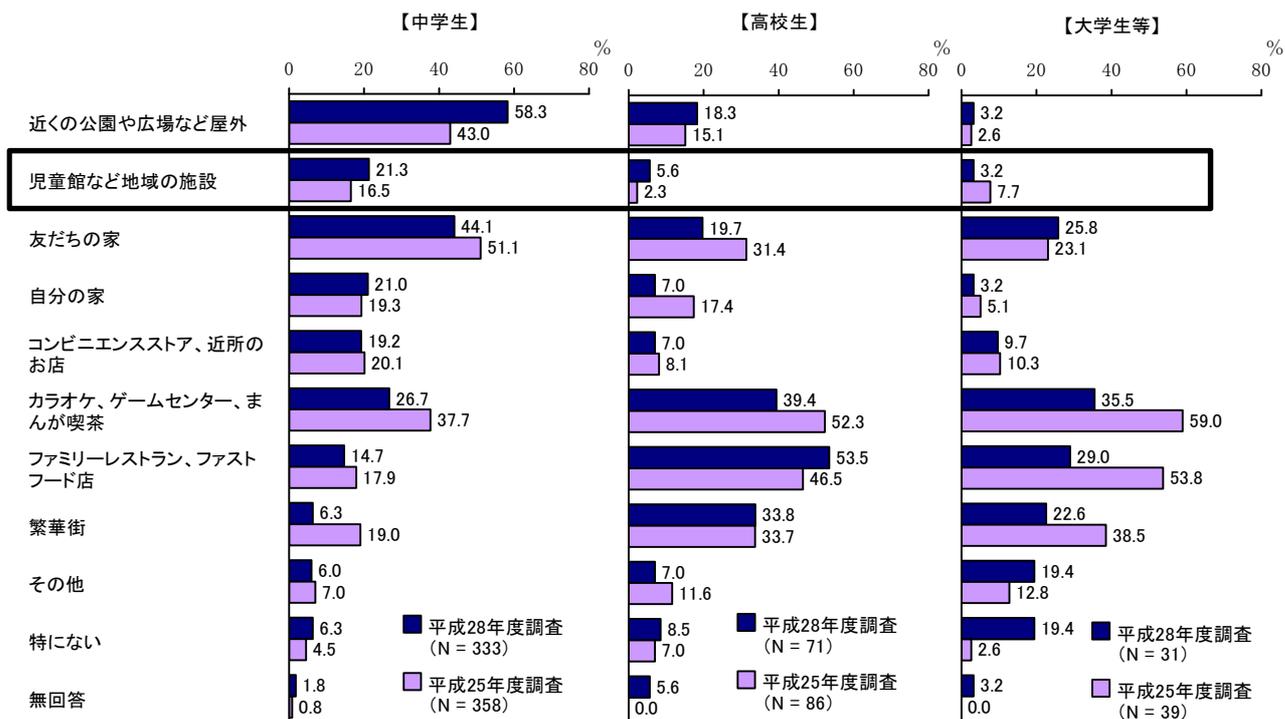
児童館の利用状況は、中学生で3.0%に留まりますが、「図書館・コミュニティ会館図書室に行く」の割合は、高齢児ほど高くなっています。



イ 友だちと遊んだり、出かけたりするところはどこが多いか（問 13）

「児童館など地域の施設」の利用率は、中学生 21.3%、高校生 5.6%、大学生 3.2%となっており、中高生については、平成 25 年度調査から増加しています。

前問との比較からは、「日常的な居場所」としてよりも「選択肢のひとつ」としてのニーズであると推測できます。

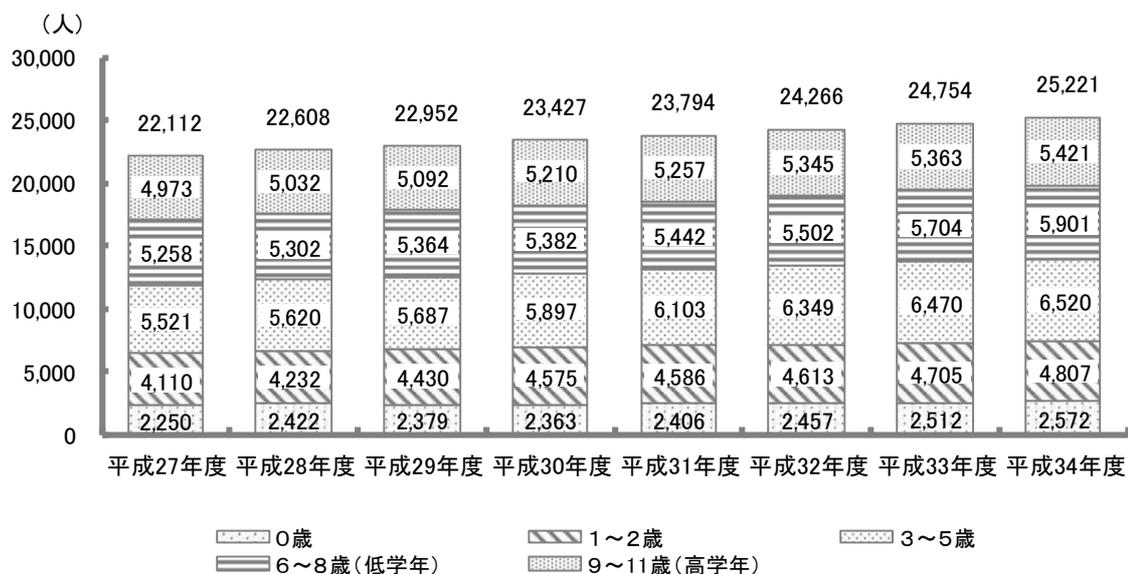


## 4 児童館を取り巻く現状のまとめ

### (1) 子ども人口の増加への対応

子どもの人口は、増加傾向にあり、今後5年間もこれまでと同じような増加率で推移することが予測され、児童館の利用者増への対応が必要です。

年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
0歳	2,250	2,422	2,379	2,363	2,406	2,457	2,512	2,572
1歳	2,072	2,219	2,310	2,338	2,322	2,364	2,415	2,468
2歳	2,038	2,013	2,120	2,237	2,264	2,249	2,290	2,339
3歳	1,824	1,968	1,948	2,060	2,174	2,200	2,185	2,225
4歳	1,848	1,828	1,942	1,923	2,033	2,145	2,171	2,156
5歳	1,849	1,824	1,797	1,914	1,896	2,004	2,114	2,139
0～5歳 小計	11,881	12,274	12,496	12,835	13,095	13,419	13,687	13,899
6歳	1,762	1,827	1,806	1,769	1,884	1,867	1,972	2,081
7歳	1,728	1,753	1,816	1,798	1,761	1,875	1,858	1,963
8歳	1,768	1,722	1,742	1,815	1,797	1,760	1,874	1,857
9歳	1,645	1,775	1,705	1,739	1,812	1,794	1,757	1,870
10歳	1,612	1,639	1,764	1,704	1,738	1,810	1,793	1,755
11歳	1,716	1,618	1,623	1,767	1,707	1,741	1,813	1,796
6～11歳 小計	10,231	10,334	10,456	10,592	10,699	10,847	11,067	11,322
合計	22,112	22,608	22,952	23,427	23,794	24,266	24,754	25,221



## (2) 安全で安心な放課後の居場所への対応

学童クラブの在籍数は、緩やかな増加傾向にあり、平成 28 年 4 月の在籍者は、1,960 人で、全児童数に占める登録率は 20.3%です。

「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査」では、就学前児童の保護者のうち、小学校低学年の居場所として学童クラブを希望する割合が 58.5% (平成 25 年調査 51.4%) で、最も高く、今後、学童クラブ定員の拡大、放課後子ども教室との連携強化が求められます。

## (3) 建物の老朽化等への対応

墨田区公共施設等総合管理計画（平成 28 年 3 月）における各児童館の評価結果は、区分 1（「建物性能」・「施設機能」ともに評価が低い）が 8 館、区分 2（「建物性能」の評価が低い）が 3 館であり、多様な児童館ニーズも考慮しながら、計画的な修繕又は更新（建替）を検討する必要性が生じています。

## (4) 多様化する子育て支援ニーズへの対応

児童館は、児童健全育成の拠点として、小学生を主要な対象として、発達に必要な遊びを保障する安全な居場所を提供するとともに、児童問題の早期発見・早期対応などの役割を担ってきました。

平成 9 年の児童福祉法の改正により 18 歳未満の児童を対象とすると明記されたことに伴い、児童館も中高生の居場所の 1 つとして位置づけられました。そこで、中高生がスポーツや学習などの活動をする場所としても利用されています。

また、平成 29 年度からは、「地域子育て支援拠点」と位置付けられ、乳幼児及びその保護者に居場所を提供するとともに、必要な支援に結び付けるための「利用者支援事業」を実施しています。

利用対象者の増加と併せて、このように多様化するニーズに対応するため、地域との連携強化なども含めた事業の再構築が必要です。

## 第3章 子ども・子育て会議学齢部会での検討

墨田区子ども・子育て会議学齢部会を中心として、区民、有識者、児童館関係者等による児童館のあり方検討会を開催し、児童館現場からの報告をもとに、期待される児童館像とそのための必要な機能について以下のとおり整理しました。

### 1 墨田区における児童館の役割と課題

#### 【 墨田区における児童館の役割 】

(平成27年3月、墨田区子ども・子育て会議学齢部会専門委員会報告から抜粋)

- ・健全な「子育て」と安心な「子育て」を保障する場であり、自主的、創造的、共同的な成長を促す施設。
- ・学童クラブ事業、一般来館児童のための多彩な事業など、広汎かつ専門的な取り組みを展開している。
- ・児童館は、小学生だけでなく、中高生の利用にも対応するため、また、親の相談、地域活動や翌日の活動の準備のために夜間まで開館している。
- ・豊富な集団遊びを体験できる場である。子どもが主体的に参画し、役割を分担し、一緒に楽しむことができる。
- ・児童館では、学童クラブや図書室などで、家庭学習の補充、遅れた科目の学習支援、自習の指導などを行っている。
- ・家庭に問題がある環境に身を置く子どもの存在を、活動を通して察知し、それを意識しながら学習支援、活動参加支援、集団活動支援を行い、子どもが困難な状況にあっても分け隔てなく仲間と同じレベルの活動ができるように配慮し、対処している。
- ・障害のある子ども、配慮や支援を必要とする子どもが、可能な限り仲間と活動の場を共有して、充実した生活ができるように保障している。
- ・学童クラブにおける児童の変化、中高生事業での児童の心や体の変化などを早期に気付き、専門的な相談、支援につなぐことで早期に対応できる。

#### 【 これまで議論されてきた児童館のあり方の検討課題 】

- ①地域子育て支援拠点になるように努める。
- ②学童クラブのニーズに対する児童館内で対応及び、学校教室等他での対応
- ③学童クラブ利用希望のある小学校高学年児童や待機児対応
- ④中高生の居場所に対する対応

## 【 各館長とのヒアリングを踏まえた墨田区における児童館の現状と課題 】

〔児童館の全体像 ー東向島児童館ー〕

- ・「乳幼児とその保護者」「小学生」「中高生」「学童クラブ」「地域コミュニティ」を対象とした活動を実施するにあたり、専門性が求められている。
- ・発達や家庭環境などによる配慮を要する児童への専門的な対応が必要。
- ・学校や子育て支援総合センターなど他機関との連携が必要。
- ・地域コミュニティをつなげる施設

〔子育て支援対策 ー江東橋児童館ー〕

- ・乳幼児とその保護者との交流の場
- ・子育て等に関する相談や支援の実施

〔小学生の居場所 ー文花児童館ー〕

- ・子どもたちの信頼関係性や人間関係性の能力の推進として、支援や育成が、児童館の機能として求められる。
- ・量とともに質の向上の必要。またそのための施設の機能強化が必要。
- ・社会的な養護の機能の強化が必要。

〔中高生対象事業、地域と児童館 ー墨田児童会館ー〕

- ・来館者の継続性が不安定（つながり） ・目的来館以外の中高生の発掘
- ・中高生（来館者）からのボランティアへの定着
- ・まだまだ眠っている地域資源
- ・更に掘り起こし、繋がり、一緒に育む
- ・児童館が地域のハブとしての役割を再認識し、行動する。

## 2 課題を踏まえた児童館に求められる機能

墨田区の児童の育成環境をめぐる諸問題を背景に、これまで児童館に求められるニーズが多様化している中で、各児童館で様々な取組を実施してきていることがわかりました。一方で、これまで引き続きの検討課題となっていることや、新たな課題が顕在化してきている現状もあります。これからの課題を踏まえ、児童館に期待される活動と役割、また、それを実現していくために必要な機能を墨田区子ども・子育て会議学齢部会では、以下のように整理しました。

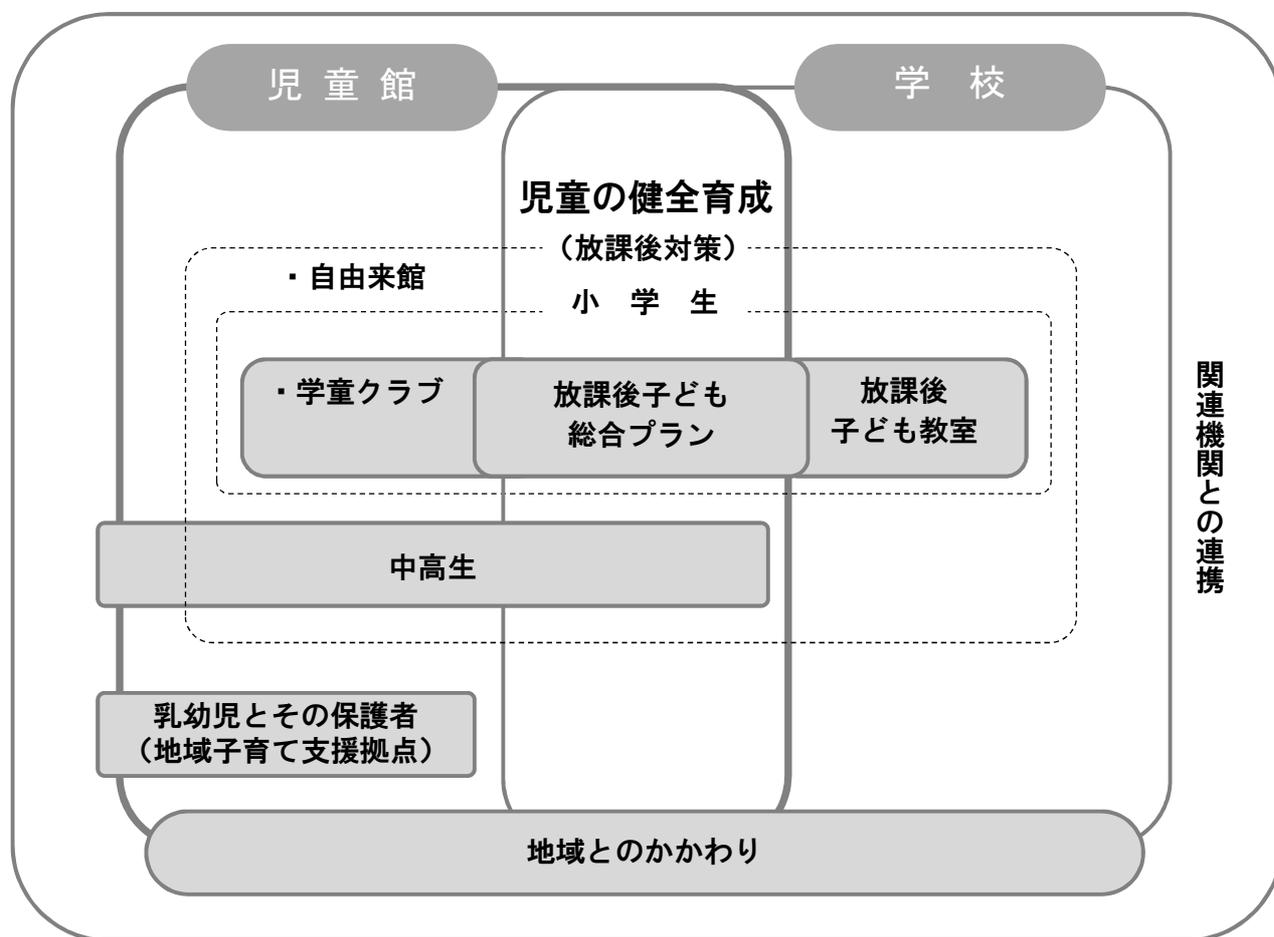
期待される児童館	
<b>1 活動</b> ①乳幼児と保護者に対する活動 ②小学生を対象にした活動 ③中高生を対象とした活動 ④地域の健全育成活動 ⑤運営体制と地域ボランティアの育成	<b>2 役割</b> ①遊びの保障 ②安心・安全な居場所 ③児童問題の早期発見・早期対応 ④子どもにやさしいまちづくり ⑤地域福祉活動の拠点
児童館に必要な機能	
課題	必要な機能
全体の活動及び役割に係ること ・「乳幼児とその保護者」「小学生」「中学生」「学童クラブ」「地域コミュニティ」を対象とした多様なニーズへの対応 ・配慮を要する児童等について早期発見・早期対応	・職員の高い専門性 ・地域・他機関との連携 ・ <u>交流スペース</u> ・ <u>相談スペース（相談内容がもれない個室）</u> ※近隣施設との役割分担
乳幼児を対象とした活動 ・乳幼児とその保護者の居場所 ・子育て等に関する相談や支援の充実	・ <u>乳児と幼児それぞれ活動できるスペース</u> ・ <u>利用しやすい環境整備（バリアフリー）</u> ※地域子育て支援拠点機能の強化
小学生を対象とした活動 ・コミュニケーション能力向上のための支援や育成 ・社会的な養護の機能強化 ・質と量を併せた施設強化	・地域・他機関との連携 ・ <u>動（運動）、静（工作、音楽活動、図書）及び学習ができるスペース</u>
中高生を対象とした活動 ・来館者の継続性が不安定 ・目的来館以外の中高生の発掘 ・中高生（来館者）からボランティアへの定着	・ <u>動（運動）、静（音楽活動、図書、会話等）及び学習ができるスペース</u> ・ <u>（小学生等と分けた専用スペース）</u> ・地域資源としての活動の場
地域と連携した活動 ・町会等地域活動との連携強化 ・児童館事業への地域からの参加（ボランティア）	・地域のハブとしての機能の再確認・充実 ・ <u>関係団体と交流が図れるスペース</u>

下線部分は、施設に関する事項

### 3 児童館の機能のイメージ

#### (1) 小学校等の児童館を取り巻く地域資源とのかかわり

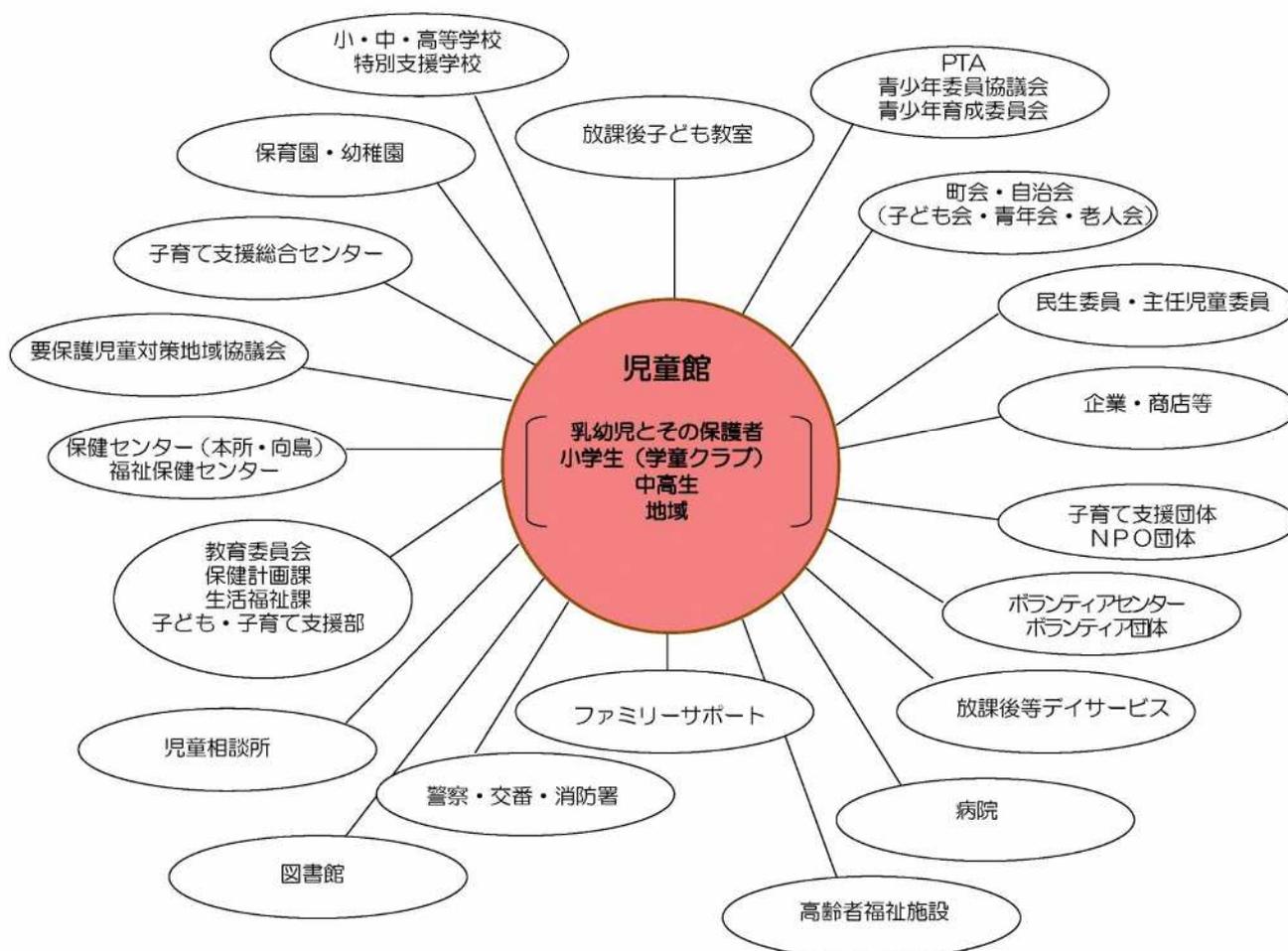
墨田区では、児童館の役割として、すべての子どもの育ちを支援する観点から、全館において、乳幼児とその保護者に対する地域子育て支援拠点になるように努めるとともに、放課後対策として子どもの居場所を確保していくべきものとして意見が取りまとめられました。その推進にあたっては児童の健全育成のためには、学校教室における放課後子ども教室、さらには放課後子ども総合プランを両輪として検討していく必要があるとの意見も出ました。また、近年の区民ニーズから、児童館運営だけでは区民の子どもとその保護者のニーズを担うことができないことから、地域住民や関係機関・団体との関わりが重要となってきます。



## (2) 各対象者とのかかわり

墨田区の児童館には、乳幼児とその保護者、小学生、中高生、一般と、幅広い年齢層の区民が利用しています。これは、墨田区の児童館の特徴でもあります。児童館を利用する利用者は、時には支援者でもあります。下記のとおり、墨田区の児童館を取り巻く地域資源は様々あります。これからの資源と有機的なネットワークを構築していくことが墨田区の特徴を生かした児童館運営であると確認されました。

児童館における各対象者のかかわり



## 第4章 施設整備の方向性

### 1 児童館運営の基本理念

児童館の理念と目的については、児童館ガイドライン（平成23年3月31日付け雇児発0331第9号）に

**①理念**：「すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、かつ、育成されるよう努めなければならない」という児童福祉法の理念に基づき、それを地域社会の中で具現化する児童福祉施設。故に保護者をはじめとする地域の人々と共に子どもの育成に努めなければならない。

**②目的**：18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成する。

と掲げられています。

また、その**機能と役割**については、

#### **①発達の増進**

子どもと長期的・継続的に関わり、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図ること。

#### **②日常の生活の支援**

子どもの遊びの拠点と居場所となり、子どもの活動の様子から必要に応じて家庭や地域の子育て環境の調整を図ることにより、子どもの安定した日常の生活を支援すること。

#### **③問題の発生予防・早期発見と対応**

子どもと子育て家庭が抱える可能性のある問題の発生を予防し、かつ、早期発見に努め、専門機関と連携して適切に対応すること。

#### **④子育て家庭への支援**

子育て家庭に対する相談・援助を行い、子育ての交流の場を提供し、地域における子育て家庭を支援すること。

#### **⑤地域組織活動の育成**

地域組織活動の育成を支援し、子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの中心となり、地域の子どもを健全に育成する拠点としての役割を担うこと。

とされています。

墨田区では平成27年3月に「墨田区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、その基本理念として「子どもと親と地域が共に育ち、子どもの利益を優先するまち すみだ」を掲げています。児童館事業は、この理念の実現に向けた具体的方向性のひとつである「子どもの豊かな育ちを育む部・機会を充実」するための事業と位置付けて、機能の強化を図っていくこととしています。

## 2 施設整備の基本方針

基本理念のもと、次の4つの基本方針により児童館の施設整備を行います。

### (1) 墨田区に住むすべての子どもに切れ目なく支援していきます

児童館の活動内容は、児童館ガイドラインでは、

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ①遊びによる子どもの育成   | ②子どもの居場所の提供     |
| ③保護者の子育ての支援    | ④子どもが意見を述べる場の提供 |
| ⑤地域の健全育成の環境づくり | ⑥ボランティアの育成と活動   |
| ⑦放課後児童クラブの実施   | ⑧配慮を必要とする子どもの対応 |

と掲げられており、その内容からも18歳未満のすべての子どもを対象としていることがわかります。

墨田区内に居住するすべての子どもたちの健やかな育ちを保障できるよう、児童館においても誰もが等しく利活用できるよう機能が重要です。乳児、幼児、学童期等のそれぞれのライフステージに対応した施設機能を整備していきます。

### (2) 地域子育て支援拠点機能を強化します

乳幼児とその保護者が安心できる居場所であり、必要な人が適切な支援を受けられるよう気軽に相談ができる施設とするため、乳幼児スペース、相談スペースを確保します。

そのため、専用スペースの確保のほか、施設の実態に応じて対象者ごとの利用時間に合わせた施設活用なども実施します。

### (3) 施設需要を踏まえた改修への対応と効率的運営を行います

人口推計に基づき、児童館ごとの対象者の増減による施設需要の変動を踏まえた対応を検討します。

また、乳幼児、小学生、中高生等の利用対象者別の利用率は児童館ごとに異なり、この差異は、児童館の施設や事業の状況によるほか、周辺施設の状況など地域特性の違いによるところもあります。

将来的な利用者数の推移など施設需要を踏まえるとともに、公共施設マネジメント計画等の関連計画との整合を図りつつ、計画的な更新を検討するとともに、適切な維持管理による施設の長寿命化と併せて快適に利用できる施設としていきます。

#### **(4) 近隣・類似施設との役割分担による子どもの育ちを支えます**

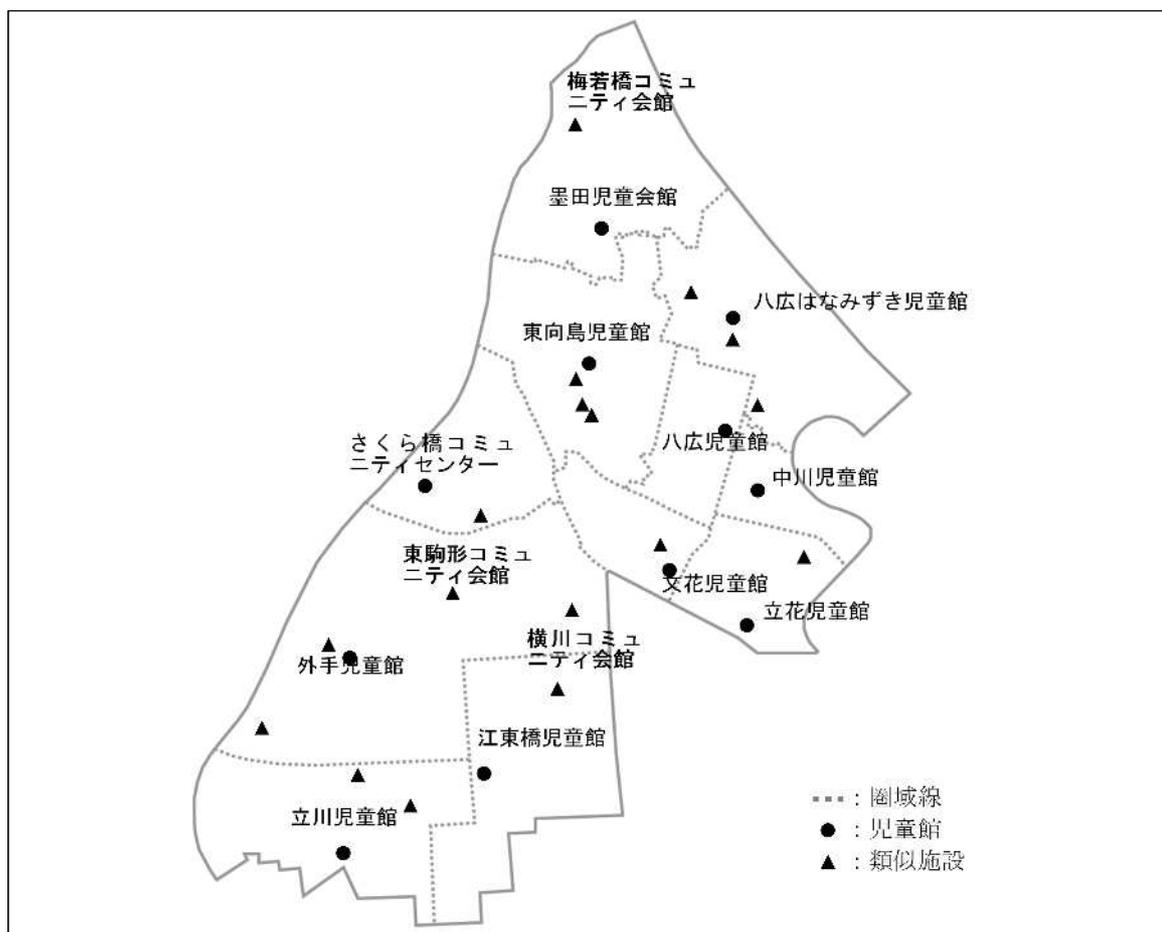
児童館は、コミュニティ会館3館と併せて、小学校2校に対してほぼ1館の割合で配置されています。

児童館別では、施設規模や機能に差があり、全ての児童館で同一の事業はできない状況にあります。区内には、コミュニティ会館のほか、図書館など、様々な公共施設があることから、これら近隣・類似施設の活用や児童館と当該施設の役割分担や、放課後子ども教室との連携などを行うことで、区内全域において、多様なニーズに効率的かつ適切に対応していきます。

#### **(5) 配慮や支援が必要な子どもの対応等きめ細やかに対応します**

配慮や支援が必要な子どもは、身体障害児・発達障害児・被児童虐待児などの多岐にわたります。特に、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、障がいのある子どもが十分に教育・保育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備が求められます。児童館においても、その子どもに応じた助言を行い、職員による適切な対応が求められます。配慮が必要な子どもへの支援については、今後も、教育、福祉、保健等との「横の連携」ができるよう、児童館の職員体制の充実をしていきます。

図表 児童館対象地区と地区内類似施設



児童館	該当地区	近隣・類似施設※
墨田児童会館	堤通二丁目、墨田	梅若橋コミュニティ会館
八広児童館	京島三丁目、文花三丁目、 八広一～三丁目	社会福祉会館
江東橋児童館	立川4丁目、菊川三丁目、 江東橋、錦糸、太平	総合体育館 緑図書館
東向島児童館	東向島、堤通一丁目、 京島一丁目、京島二丁目	ひきふね図書館 曳舟文化センター すみだ生涯学習センター
立花児童館	文花二丁目、立花一～四丁目	立花図書館
立川児童館	両国、千歳、緑、 立川一～三丁目、 菊川一～二丁目	みどりコミュニティセンター 緑図書館
文花児童館	押上、文花1丁目	文花子育てひろば 横川コミュニティ会館
中川児童館	立花五～六丁目	立花図書館
外手児童館	横網、亀沢、石原、本所、 東駒形、吾妻橋、横川、業 平	本所地域プラザ 両国子育てひろば 東駒形コミュニティ会館 横川コミュニティ会館
八広はなみずき児童館	八広四～六丁目、東墨田	八広図書館 八広地域プラザ
さくら橋コミュニティ センター	向島	すみだ女性センター

※「近隣・類似施設」は、児童館から直線距離でおおむね1 km以内とする。

## 第5章 児童館別の施設整備の方向性

### 1 児童館別の施設整備の方向性の考え方

児童館に求められる役割とそのために必要な機能の充実を効率的かつ効果的に実施するため、施設の現況、需要の想定、周辺施設の状況等の評価に基づき、児童館ごとの方向性を示します。

#### 【方向性の検討方法】

#### ① 施設機能の把握

施設機能について、種別ごとの保有の有無と面積等を把握した。

#### ② 利用者の推計

乳幼児、小学生、中学生、高校生、一般の区分により、児童館の利用実績に基づき、平成30年度から平成34年度の利用者数を推計した。なお、利用者数は、「墨田区次世代育成支援行動計画、墨田区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しにおいて推計した人口推計をもとに、これまでの人口に対する上記区分の利用率についてのトレンドを算出し各年の人口に乗じて算出した。

また、利用状況を示す指標として、「利用者数÷人口推計」を「利用率」、「対象別利用者数÷全体利用者数」を「利用比率」として示した。

#### 平成34年度の利用想定（全館平均）

対象	人口推計 (A)	一日当たり利用者推計 (B=A÷320)	利用率 (B÷A)	利用比率 (対象別利用者÷全体利用者)
乳幼児	12,315	242	1.97%	13.98%
小学生	9,439	971	10.29%	56.01%
中学生	8,392	115	1.37%	6.63%
高校生	10,080	59	0.59%	3.42%
一般	244,728	346	0.14%	19.96%
全体	284,954	1,734	0.61%	

#### ③ 施設機能の評価

乳幼児、小学生、中学生、高校生、一般の区分により、平成34年度の1日あたりの利用想定人数を算出し、周辺施設の状況を勘案して、児童館ごとに保有している機能で対応可能であるか検証した。

◎	○	△	×
充実	標準	やや不足	不足

#### ④ 方向性の提示

乳幼児、小学生、中学生、高校生、一般の区分により、運営上の問題点及び課題を整理し、今後の運営及び活用上の方向性を導き出した。なお、今後の具体的な整備例として、検討時期概ね1～3年を短期、4～7年を中期、7年以降を長期とする。

## 2 児童館別の現状評価及び方向性

### (1) 墨田児童会館

#### 1 現状・利用者推計

- ・小学生の利用者数が特に多い。
- ・乳幼児、中学生、一般は近年利用者が増加傾向だが、高校生は近年減少傾向である。
- ・対象者人口に対する乳幼児、小学生、中学生の利用率は、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・地域団体とのつながりが強い。
- ・地域のボランティアと協力して各種事業を開催している。

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用想定数	指標
乳幼児	9,773	11,239	12,534	13,536	11,646	11,518	11,038	31	14.39%
小学生	39,307	37,346	40,890	39,749	39,388	39,091	37,904	106	49.43%
中学生	7,026	5,215	9,631	8,599	7,428	7,306	6,819	19	8.89%
高校生	4,744	3,346	1,333	1,174	2,677	2,694	2,760	8	3.60%
一般	12,306	16,460	22,271	22,253	18,330	18,298	18,168	51	23.69%
全体	73,156	73,606	86,659	85,311	79,469	78,907	76,689	215	

#### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ	図書室	図工室	体育室	音楽室	遊戯室・集会室	屋外遊び場
乳幼児	◎							◎
学童児童		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
自由来館			◎	◎	◎	◎	◎	◎
中高生			◎	◎	◎	◎	◎	◎
子育て拠点	○							

#### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
梅若橋コミュニティ会館	体育室・図書室・調理室・集会施設

#### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳幼児室内に調乳スペースがない。
小学生対策	・調理実習の児童館事業をするにあたり、それに適した調理スペースがない。
中高生対策	・高校生の利用率が減少している。
学童クラブ	・平成29年4月1日時点、待機児童7人、分室待機児童23人 ・調理スペース及び手洗い場は本館学童のみ(第二学童には設置されていない)
その他	・施設の老朽化 トイレ、床タイル、空調等設備等 ・来館者数が多く、1階フロアでの不審者対策が重要になっている。

#### 5 今後の運営及び活用上の方向性

##### (1) 方向性

施設規模が大きく、乳幼児から高校生まで利用が可能である。  
今後、対象者人口の逡減が予測されるが、当面、現在と同程度の利用者が見込まれるため、機能維持が望ましい。  
経年劣化が進む躯体・設備の改善を図る。  
梅若橋コミュニティ会館の施設活用又は役割分担を図る。

##### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	大規模改修または建替を検討する。(短期)
②ソフト(利用形態、条件)	梅若橋コミュニティ会館の調理室等の活用、役割分担を検討する。 利用者支援事業及び地域との連携強化を図る。

## (2) 八広児童館

### 1 現状・利用者推計

- ・全利用者に占める小学生の割合が高く、約8割になっている。
- ・対象者人口に対する乳幼児、中高生の利用率は、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用想定数	指標
乳幼児	1,825	1,497	1,751	1,744	1,709	1,712	1,722	5	5.35%
小学生	30,126	27,762	25,990	22,413	26,027	25,864	25,374	71	78.80%
中学生	1,149	1,317	2,123	1,831	1,616	1,618	1,627	5	5.05%
高校生	1,756	46	33	112	569	593	701	2	2.18%
一般	2,786	2,622	2,901	2,578	2,734	2,742	2,776	8	8.62%
全体	37,642	33,244	32,798	28,678	32,655	32,529	32,200	91	

### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	遊戯室		その他
乳幼児	△							
学童児童		○	○	◎	△	△		
自由来館			○	◎	△	△		
中高生			○	○	△	△		
子育て拠点	△							

### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
社会福祉会館	集会室、体育室

### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯室の一部を乳幼児専用スペースとしている。</li> <li>・乳幼児親子の利用に適したトイレ等の設備がない。</li> </ul>
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯室の一部を乳幼児専用スペースとしたため、小学生スペースを縮小した。</li> </ul>
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室が狭い。</li> <li>・利用率が低い。(4人/日)</li> </ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、待機児童2人、分室待機児童1人</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーの徹底</li> <li>・施設の老朽化</li> </ul>

### 5 今後の運営及び活用上の方向性

#### (1) 方向性

乳幼児及び小学生を対象とした事業の充実に取り組む。  
 中高生事業は、社会福祉会館等、周辺公共施設の活用を踏まえて、学習活動の場の充実などを検討する。  
 経年劣化が進む躯体・設備の改善を図る。  
 中川児童館との機能分担を検討する。

#### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	建替えを検討する。(短期)
②ソフト(利用形態、条件)	事業の拡充等、乳幼児親子の利用促進を図る。 児童館事業での社会福祉会館活用を検討する。 第三吾嬬小学校いきいきスクール等、地域との連携強化に引き続き取り組む。

### (3) 江東橋児童館

#### 1 現状・利用者推計

- ・対象者人口に対する乳幼児の利用率は、約16%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・対象者人口に対する小学生の利用率は、約50%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)
- ・地域とのつながりが強く、一般利用が多い。

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用定数	指標
乳幼児	4,374	5,047	5,869	6,047	5,678	5,887	6,805	19	15.99%
小学生	17,920	18,502	17,434	19,362	19,348	19,687	21,144	59	49.69%
中学生	2,345	2,005	1,051	1,410	1,702	1,696	1,670	5	3.92%
高校生	163	50	52	495	195	197	207	1	0.49%
一般	8,329	9,845	13,144	13,443	11,637	11,847	12,727	36	29.91%
全体	33,131	35,449	37,550	40,757	38,560	39,314	42,553	120	

#### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	屋上	その他
乳幼児	△				△	△	
学童児童		○	◎		△	○	
自由来館			◎		△	○	
中高生			◎		△	○	
子育て拠点	△					△	

#### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
総合体育館	屋内競技場、プール、ジム、会議室
緑図書館	図書室(学習室)

#### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児室に流しがない。</li> <li>・乳幼児事業で使用している体育館・学童クラブ室の床が硬い。</li> <li>・ベビーカーの置き場が限られている。</li> </ul>
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室が狭く天井が低く、床が硬い。</li> <li>・音楽事業は乳幼児室で実施している。</li> </ul>
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生用のスペースが少ない。</li> <li>・利用率が低い。(5人/日)</li> </ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童3人、分室待機4人</li> <li>・開閉できる窓が限られている。</li> <li>・室内に死角がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の老朽化 トイレ、床等</li> <li>・バリアフリーの徹底</li> </ul>

#### 5 今後の運営及び活用上の方向性

##### (1) 方向性

子育て支援拠点としての機能強化のため、ソフト面を中心とした対策を実施する。  
 中高生事業は、総合体育館や緑図書館等、周辺公共施設の活用を踏まえて、学習活動の場の充実などを検討する。

##### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	トイレ改修(短期) 経年劣化の進捗する設備を計画的に修繕し機能の維持・向上を図る。 次期基本計画期間の更新を検討する。
②ソフト(利用形態、条件)	乳幼児事業の強化を図りながら、中高生までを対象とした居場所事業を検討する。地域との連携強化に引き続き取り組む。

## (4) 東向島児童館

1 現状・利用者推計									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者人口に対する高校生の利用率は、約11%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)</li> <li>・対象者人口に対する小学生の利用率は、約53%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)</li> </ul>									
利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用総数	指標
乳幼児	7,065	6,387	6,934	6,865	7,080	7,201	7,704	22	53.24%
小学生	26,067	25,875	29,710	30,364	28,498	28,834	30,204	84	6.05%
中学生	2,858	3,199	3,480	3,318	3,293	3,320	3,430	10	10.72%
高校生	5,026	5,236	5,781	5,827	5,710	5,781	6,082	17	16.41%
一般	8,499	8,228	9,273	8,160	8,788	8,890	9,308	26	53.24%
全体	49,515	48,925	55,178	54,534	53,369	54,026	56,728	159	
2 機能別の評価									
	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	音楽室	ラウンジ	その他	
乳幼児	○	△	○	○	○	○	○	○	
学童児童	△	○	○	○	○	○	○	○	
自由来館	△	○	○	○	○	○	○	○	
中高生	△	○	○	○	○	○	○	○	
子育て拠点	△	○	○	○	○	○	○	○	
3 周辺施設の受皿の状況									
施設名称					設備等				
ひきふね図書館					図書室(学習室)				
曳舟文化センター					多目的室				
すみだ生涯学習センター					多目的室、音楽スタジオ、ホール、展示スペース				
4 運営上の問題点及び課題									
乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給湯室(給湯、レンジ等)がない。</li> <li>・専用室の利用人数に限りがある(5組程度)。</li> <li>・ラウンジを活用しているが、階段と直結しているため安全管理が課題になる。</li> <li>・ベビーカーの置き場が限られている。</li> </ul>								
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブ登録児童が多く、自由来館児を含めた遊びスペースが不足している。</li> </ul>								
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室が比較的狭いため、人数制限や活動制限を図ることで安全性を確保している。</li> <li>・音楽室の防音効果が不十分のため、活動に制限がある。</li> </ul>								
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童16人、分室5人</li> <li>・学童クラブ室が、定員に対して狭小である。</li> </ul>								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1F入口から階段が近く、事務室からの視認性が低いため防犯対策が重要になっている。</li> <li>・1F入口が明治通りに面しているため、飛び出し等の事故防止が重要になっている。</li> <li>・プレイグラウンド(大型遊具)は、老朽化が進んでいるほか、閉館時間中に、たばこの吸い殻等の遺棄があるなど、管理上の課題がある。</li> <li>・施設の老朽化 遊戯室、体育室の床</li> </ul>								
5 今後の運営及び活用上の方向性									
(1) 方向性									
<p>子育て支援拠点機能を充実させるとともに、安全面を含めて小学生の居場所対策を強化する。          中高生の居場所機能を維持する。          児童を中心とした地域交流がより展開できるよう事業を検討し、整備をする。</p>									
(2) 今後の具体的な整備例									
①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	平成29年度トイレ改修済み 経年劣化の進捗する設備の修繕を計画的に実施し機能の維持・向上を図る。 次期基本計画期間の更新を検討する。								
②ソフト(利用形態、条件)	東向島児童館分館と一体的な乳幼児事業及び自由来館事業の充実を図るとともに、これと併せた学童クラブ育成環境の改善を検討する。								

## (5) 立花児童館

### 1 現状・利用者推計

・対象者人口に対する小学生の利用率は、約60%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用総定数	指標
乳幼児	5,062	5,018	5,093	4,496	4,846	4,795	4,589	13	10.12%
小学生	25,571	26,903	29,475	23,512	27,366	27,366	27,366	77	60.36%
中学生	5,769	3,301	2,675	3,558	3,663	3,604	3,397	10	7.49%
高校生	928	1,580	1,412	1,453	1,404	1,428	1,530	5	3.37%
一般	8,028	8,175	9,549	7,613	8,399	8,410	8,455	24	18.65%
全体	45,358	44,977	48,204	40,632	45,678	45,603	45,337	129	

### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	音楽室	プレイグラウンド	その他
乳幼児	△						○	
学童児童		◎	○	△	○	△	○	
自由来館			○	△	○	△	○	
中高生			○	△	○	△	○	
子育て拠点	△							

### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
立花図書館	図書室

### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児スペースが狭小である。</li> <li>・授乳等は、別室を利用している。</li> </ul>
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作や楽器演奏のための設備を有する専用室が無い。</li> </ul>
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室の天井が低く、周囲がガラス張りのため、遊びやスポーツが限られる。</li> </ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室0人</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の老朽化</li> <li>空調、周辺鉄柵等</li> </ul>

### 5 今後の運営及び活用上の方向性

#### (1) 方向性

小学生の利用率を確保しながら、乳幼児事業の環境改善を図る。  
公園等の周辺環境をいかした事業の充実を図る。  
中川児童館との機能分担を検討する。

#### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード（建築物、付帯施設、その他整備）	計画的な修繕による長寿命化を図りながら、利用形態に合わせた大規模改修を検討する。（長期） 体育室の活用方法を検証し必要な設備改善を図る。
②ソフト（利用形態、条件）	周辺小学校地区での学童クラブ増設など、小学生の居場所を確保しながら、地域子育て支援拠点事業の充実を図る。

## (6) 立川児童館

### 1 現状・利用者推計

- ・対象者人口に対する高校生の利用率は、1%未満であり、区全体の児童館平均より著しく低くなると見込まれる。(推計)
- ・対象者人口に対する乳幼児の利用率は約17%、小学生の利用率は約60%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・地域団体とのつながりが強固である。

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用総数	指標
乳幼児	5,691	5,816	4,990	5,054	6,084	6,346	7,508	21	16.85%
小学生	20,992	26,498	24,994	23,182	24,640	25,088	26,953	75	60.48%
中学生	1,848	1,723	1,672	919	1,570	1,572	1,579	5	3.54%
高校生	412	367	163	309	342	352	396	2	0.89%
一般	7,206	6,930	5,907	6,114	7,054	7,256	8,128	23	18.24%
全体	36,149	41,334	37,726	35,578	39,690	40,614	44,564	126	

### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	屋上	集会室	その他
乳幼児	△							
学童児童		○	○	○	○	△		
自由来館			○	○	○	△		
中高生			○	○	○	△		
子育て拠点	△							

### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
みどりコミュニティセンター	多目的室、調理室体育室
緑図書館	図書室(学習室)

### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階事務室の給湯機を利用している。</li> <li>・ベビーカー置き場が不足している。</li> <li>・ランチスペースは小学生と共用のため、長期休業時に運用しづらい。</li> </ul>
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室の天井が低い。</li> </ul>
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室の天井が低い。</li> <li>・音楽室がない。</li> <li>・利用率が低い。(6人/日)</li> </ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室11人</li> <li>・学童クラブ室が、定員に対してやや狭小である。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室(みどりっ子クラブ)と連携した学童類似事業(フレンズみどり)を実施している。</li> <li>・バリアフリーの徹底</li> <li>・施設・設備の老朽化</li> <li>電気設備・外壁等</li> </ul>

### 5 今後の運営及び活用上の方向性

#### (1) 方向性

既存施設の有効活用による乳幼児から小学生までを中心とした機能の充実を図る。

#### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	改修工事による長寿命化を実施する。(短期) また、これに合わせた事業環境の改善(トイレ改修、屋上利用等)を検討する。
②ソフト(利用形態、条件)	放課後子ども教室と連携した小学生の居場所対策を継続する。 地域団体との連携を引き続き強化する。

## (7) 文花児童館

### 1 現状・利用者推計

- ・全ての利用者区分において、対象者人口に対する利用率が区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・対象者人口に対する一般利用の利用率が、区全体の全児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用総数	指標
乳幼児	5,754	6,644	7,894	7,892	7,673	7,857	8,663	25	14.98%
小学生	25,011	26,363	25,268	27,870	25,318	25,483	26,140	73	45.20%
中学生	4,372	2,572	3,408	4,442	3,336	3,201	2,719	8	4.70%
高校生	2,221	2,292	1,984	1,414	2,097	2,153	2,390	7	4.13%
一般	15,348	15,327	18,383	17,844	17,150	17,302	17,922	50	30.99%
全体	52,706	53,198	56,937	59,462	55,574	55,996	57,834	163	

### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	音楽室	集会室	屋上
乳幼児	◎							×
学童児童		○	○		○			×
自由来館			○		○		○	×
中高生			○		○	○		×
子育て拠点	○							×

### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
文花子育てひろば	乳幼児室
横川コミュニティ会館	図書室(学習室)、体育室

### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種乳幼児関係事業の利用者は多く、近隣幼稚園や保育園の利用もある。</li> <li>・軽食をとる親子やグループもいる。</li> <li>・春の花見の季節や夏季、冬季、雨季等の室内利用も多い。</li> </ul>
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブ児童の日常利用も含まれるため、児童館スペースが不足気味である。</li> <li>・学校の休暇期間等に、軽食を提供できる機能・スペースが求められる。</li> </ul>
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の休暇期間等に、軽食がとれる機能・スペースが不足している。</li> </ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室5人</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯対策の強化</li> <li>・高齢者等近隣との交流強化。</li> <li>・屋上は、防水の劣化に伴い閉鎖している。</li> <li>・施設の経年劣化 壁の塗装剥離等</li> </ul>

### 5 今後の運営及び活用上の方向性

#### (1) 方向性

既存施設及び公園の有効活用、文花子育てひろばとの連携強化等により、対象者人口の増加を考慮した環境整備を図る。

#### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	大規模修繕による施設の長寿命化と併せた機能向上(屋上利用等)を検討する。(短期)
②ソフト(利用形態、条件)	文花子育てひろばとの連携による乳幼児事業の強化を図る。隣接する公園を活用した事業の充実を図る。

## (8) 中川児童館

1 現状・利用者推計									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての利用者区分において、対象者人口に対する利用率が区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)</li> <li>・対象者人口に対する小学生の利用率は、約 67%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)</li> </ul>									
利用者	実績					推計			
	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H34 年度	1日当り利用総定数	指標
乳幼児	4,074	4,629	3,775	4,065	5,289	6,016	10,060	28	16.43%
小学生	28,574	27,111	27,045	27,564	31,075	32,807	40,754	114	66.57%
中学生	6,158	3,439	2,420	1,640	3,834	4,003	4,789	14	7.82%
高校生	405	903	977	2,023	1,025	1,029	1,045	3	1.71%
一般	3,658	4,139	3,462	3,604	3,901	4,026	4,568	13	7.46%
全体	42,869	40,221	37,679	38,896	45,124	47,881	61,216	172	
2 機能別の評価									
	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	中高生ルーム	集会室	その他	
乳幼児	△	/	/	/	/	/	/		
学童児童	/	△	○	/	○	/	/		
自由来館	/	/	○	/	○	/	/		
中高生	/	/	○	/	○	○	/		
子育て拠点	△	/	/	/	/	/	/		
3 周辺施設の受皿の状況									
施設名称					設備等				
立花図書館					図書室(学習室)				
4 運営上の問題点及び課題									
乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児事業を基本的に3階体育室で行っているため、衛生面の対策が重要である。</li> <li>・乳幼児室におむつ替えを行えるスペースが不十分。</li> <li>・乳幼児室に流しがない。</li> </ul>								
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブ児童が多く、自由来館を含めた遊びのスペースが限られる。</li> </ul>								
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3階体育室の天井が低い。</li> </ul>								
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童20人</li> <li>・定員70人に対する手洗い等設備が不足気味である。</li> </ul>								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の前がすぐ道路のため、飛び出し事故等の懸念がある。</li> <li>・バリアフリーの徹底化</li> </ul>								
5 今後の運営及び活用上の方向性									
(1) 方向性									
東吾嬬小学校地区での学童クラブ増設等により、学童クラブ育成環境の改善を図る。 立花・八広児童館との機能分担等を進めながら、既存施設の有効活用を図る。									
(2) 今後の具体的な整備例									
①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	大規模修繕による施設の長寿命化と併せた機能強化を検討する。(短期)								
②ソフト(利用形態、条件)	地域団体との連携を引き続き強化する。 学童クラブ育成環境の改善や館内配置の見直しにより、スペースを確保して乳幼児事業及び小学生事業の充実を図る。								

## (9) 外手児童館

### 1 現状・利用者推計

- ・全ての利用者区分において、対象者人口に対する利用率が区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)
- ・対象者人口に対する中学生の利用率は約4パーセント、高校生の利用率は約1%であり、区全体の児童館平均より低くなると見込まれる。(推計)

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用総数	指標
乳幼児	5,006	6,631	7,816	7,114	7,252	7,425	8,157	23	13.91%
小学生	26,603	28,210	31,154	32,928	30,603	31,177	33,572	94	57.26%
中学生	3,301	2,484	2,670	1,943	2,545	2,529	2,471	7	4.21%
高校生	723	816	687	706	749	756	787	3	1.34%
一般	9,910	11,679	14,061	13,990	12,787	12,954	13,645	38	23.27%
全体	45,543	49,820	56,388	56,681	53,936	54,841	58,632	165	

### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	音楽室	多目的室	その他
乳幼児	△							
学童児童		△	○		○			
自由来館			○		○		○	
中高生			○		○			
子育て拠点	△							

### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
本所地域プラザ	多目的室、調理室、体育室
両国子育てひろば	乳幼児室
東駒形コミュニティ会館	図書室(学習室)
横川コミュニティ会館	図書室(学習室)、体育室

### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的室等を乳幼児事業に活用している。</li> <li>・乳幼児事業用の設備が不足している。</li> </ul>
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこルーム(多目的室)を活用した音楽活動をしている。</li> </ul>
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室の天井が低い。</li> </ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童0人、分室待機28人</li> <li>・狭小であるが、若宮公園での屋外活動等に対応している。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付が1階の奥にあり、来館者の確認がしにくい。</li> <li>・近隣にコミュニティ会館2館、本所地域プラザがあり、利用者の分散がある程度されている。</li> </ul>

### 5 今後の運営及び活用上の方向性

#### (1) 方向性

周辺施設の受皿を複数有しているため、既存施設の有効活用により、計画的な改修を実施する。

#### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	大規模修繕による施設の長寿命化と併せた機能強化を検討する(短期)。周辺に学童クラブを増設し、第二学童クラブ室の用途転換等の改修を検討する
②ソフト(利用形態、条件)	学童クラブ育成環境の改善や館内配置の見直しにより、乳幼児事業等の充実を図っていく。

## (10) 八広はなみずき児童館

### 1 現状・利用者推計

- ・全ての利用者区分において、対象者人口に対する利用率が区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・対象者人口に対する小学生の利用率は約62%、中学生の利用率は約14%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用総数	指標
乳幼児	4,019	4,203	3,439	3,827	4,309	4,479	5,238	15	10.31%
小学生	33,919	33,834	34,689	34,119	32,840	32,639	31,837	89	62.64%
中学生	7,845	7,256	5,177	6,466	6,733	6,788	7,005	20	13.78%
高校生	1,981	2,015	1,823	1,208	1,847	1,905	2,169	7	4.27%
一般	4,549	4,132	3,712	4,274	4,293	4,348	4,576	13	9.00%
全体	52,313	51,440	48,840	49,894	50,022	50,159	50,825	144	

### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	音楽室	多目的室	その他
乳幼児	○							
学童児童		○	○		○	△	○	
自由来館			○		○	△	○	
中高生			○		○	△	○	
子育て拠点	△							

### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
八広図書室	図書室(学習室)
八広地域プラザ	会議室、調理室、ホール、体育館等

### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	・乳児と幼児のスペースを区分していない。
小学生対策	・
中高生対策	・待ち合わせ、勉強等の目的を持ってくる児童が多い。
学童クラブ	・平成29年4月1日時点、学童クラブ待機児童7人 ・地域集会所を転用し第二学童クラブを設置している。
その他	・施設の経年劣化

### 5 今後の運営及び活用上の方向性

#### (1) 方向性

既存施設を有効活用し、小学生、中学生の居場所を維持しながら、地域子育て支援拠点のための機能充実を図る。

#### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード(建築物、付帯施設、その他整備)	大規模修繕と併せた施設の長寿命化と機能強化を検討する。(短期)
②ソフト(利用形態、条件)	八広地域プラザを活用した児童館事業の充実を図る。 館内配置の見直し等により、スペースを確保して地域子育て支援拠点機能を強化する。

## (11) さくら橋コミュニティセンター

### 1 現状・利用者推計

- ・全ての利用者区分において、対象者人口に対する利用率が区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)
- ・、対象者人口に対する乳幼児の利用率は、約17%であり、区全体の児童館平均より高くなると見込まれる。(推計)

利用者	実績					推計			
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H34年度	1日当り利用想定数	指標
乳幼児	10,122	9,381	10,460	9,238	11,142	11,550	13,348	38	16.60%
小学生	28,539	30,794	31,877	33,264	33,161	34,222	38,747	108	48.17%
中学生	3,659	4,235	6,029	3,562	4,506	4,559	4,769	14	5.93%
高校生	3,483	3,597	2,221	1,274	2,646	2,652	2,675	8	3.33%
一般	16,454	19,534	19,927	17,814	19,249	19,567	20,894	59	25.98%
全体	62,257	67,541	70,514	65,152	70,704	72,550	80,433	227	

### 2 機能別の評価

	乳幼児室	学童クラブ室	図書室	図工室	体育室	音楽室	集会室	その他
乳幼児	○							
学童児童		○	○		○	○		
自由来館			○		○	○		
中高生			○		○	○		
子育て拠点	△							

### 3 周辺施設の受皿の状況

施設名称	設備等
すみだ女性センター	多目的室

### 4 運営上の問題点及び課題

乳幼児対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児と幼児のスペースを区分していない。</li> <li>・乳幼児用の設備がやや不足している。</li> </ul>
小学生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブ登録児童が多く、自由来館児を含めた遊びスペースが不足している。</li> <li>・ランドセル預かりのスペースが不足してきている。</li> </ul>
中高生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>スポーツをする設備が整っていない。(例：バスケットゴールの不足)</b></li> </ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二学童クラブ設置に伴い手洗い等設備等に不足が生じている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> </ul>

### 5 今後の運営及び活用上の方向性

#### (1) 方向性

周辺に、児童館事業等に活用可能な公共施設が公園以外にないため、既存施設を有効活用して、乳幼児及び小学生の居場所確保を図る。

#### (2) 今後の具体的な整備例

①ハード（建築物、付帯施設、その他整備）	大規模修繕による施設の長寿命化と機能強化を検討する。(中期) 地域子育て支援拠点の充実を目的とした設備の充実を図る。
②ソフト（利用形態、条件）	学童クラブ育成環境の改善と併せて乳幼児事業の充実を図る。

